

《A科の学生たちが製作したダンボールの建造物》

1. 概況(雑感)

11月も中旬以降、冷え込む日が多くなってきた。巷では中学校や高等学校で学級閉鎖が行なわれるほど、インフルエンザが流行しており、本学でも目立ってはいないものの罹っている学生が多くいるようである。学習支援室に来る学生のほとんどはグループでの利用が多く、いつは一緒に来るメンバーが欠けていると、それはインフルエンザに罹ったためのような。学習支援室では空気清浄機能の付いた加湿器を設置してインフルエンザ対策を行なっているが、利用する学生の中にはマスクをして学習する姿が見受けられた。

学園祭開催中は学習支援室も一時休業となった。模擬店のスペースに出向いてみると、あっちこっちから『先生、買ってください。』と声をかけられた。メンバーには普段見ない顔ぶれの学生もいるので、買い物ついでにメンバーの関係を聞いてみると、そのほとんどがクラブやサークル活動で店を出していることがわかった。展示のスペースに行っても、支援室で見かける学生がたくさんおり、学園祭前にあまり見かけなくなったかと思えば、作品の製作に追われていたという。特に目に止まったのが10号館1階の展示されていたダンボールのはめ合わせだけでつくられた巨大な建造物である。学生が最後の仕上げをしているところに出くわし、たいそう疲れた表情で、製作のために5日ほど徹夜に近い状態であったことを聞いた。

今まで、あまり気にかけていなかったが、支援室に来る学生の中には、そういった活動に加入して活発に活動している文武両道の学生(成果や成績は別としてではあるが...)が多いことにあらためて気づいた。学園祭期間中は摂大祭実行委員の学生諸君が夜遅くまで残って、準備や片付けに走り回っている黄色のユニホーム姿もよく目にした。学園祭に参加した学生諸君に心からご苦労様と言いたい。

2. 利用状況[11月1日～30日]

総利用者数 1747人 [2008年度 1449人, 2007年度 1580人]

79.4人/日 [学習相談 1419人(22日), 補習授業 325人(18日)]

1) 利用統計

学年別利用者数 (全学部延べ人数)

年度	2009	2008	2007
1年生	407人	858人	1172人
2年生	732人	497人	201人
3年生	576人	67人	171人
4年生	20人	27人	31人
その他	10人	0人	5人

〔※その他 留学生・留年生・大学院生の利用〕

科目別利用者数 (全学部延べ人数)

年度	2009	2008	2007
数学	621人	942人	914人
物理	84人	69人	205人
英語	21人	37人	50人
情報	3人	2人	15人
化学・生物	0人	397人	396人
専門・一般	236人		
自習	744人		
その他	38人		

学科・学部別利用者数 (延べ人数)

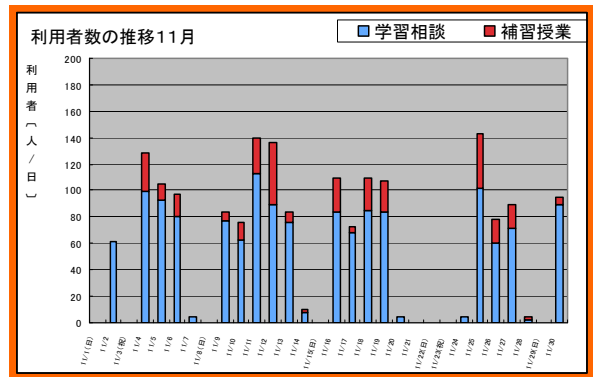
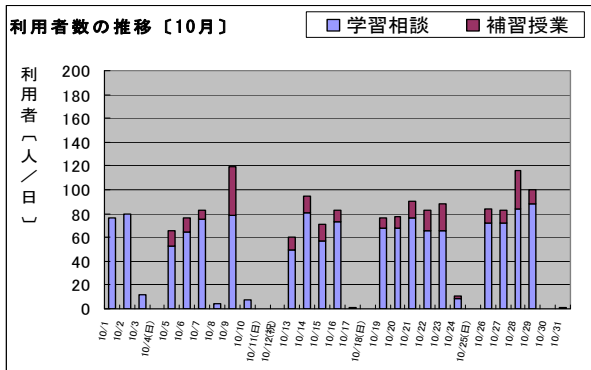
年度	2009						2008	2007	
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年以上	合計			
工学部	C科	29人	25人	32人	0人	1人	87人	112人	259人
	A科	37人	178人	26人	0人	0人	241人	169人	213人
	E科	105人	261人	459人	17人	8人	860人	580人	692人
	M科	117人	197人	29人	0人	0人	343人	372人	274人
	B科	112人	71人	17人	1人	0人	201人	214人	134人
他学部	I部	0人	0人	0人	0人	0人	5人	2人	7人
	J部	0人	0人	0人	0人	0人			
	L部	0人	0人	3人	2人	0人			
	P部	0人	0人	0人	0人	0人			
大学院		1人	別科		4人				

〔※10月の他学部の利用について J3, L3-SPI, 別科-課題・レポート 等〕

11月の利用状況を学部・学科別に示した。今月は3年次生でSPIの模擬試験が実施されたことから、模擬試験を持って復習にやっ
て来た学生が、工学部の学生だけでなく他学部の学生にもいた。科目別利用者数のその他の人数はこれらSPIの学習相談によるもので
ある。また、今月は留学生別科の学生の利用もあり、学科・学部別利用者数の表に利用者数を入れた。

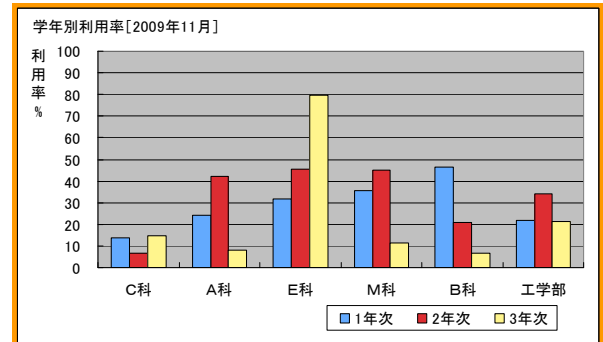
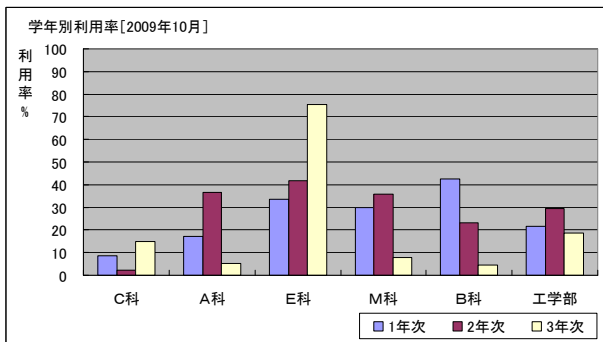
2) 利用者の推移

11月の利用者の推移を表にした。10月に比べて利用者が増加しているが、これは学祭明けに実施予定の中間試験の影響によるものと
思われる。特に微積分Iの中間試験直前は利用者が多くなることをよく利用する学生は知っているため、少し早い時期から取り組み始
めているようだ。また、水曜日と木曜日に利用者が多くなっているのは、課題や実験レポートの提出期限がこの翌日であったことによ
るものと推測できる。



3) 学年別利用率の推移

11月の学年別の利用率を集計した。10月のものと比較してみるとグラフの形がほぼ同じになっている。もちろんすべてが同一の人物
とまではいえないものの、これらが現在、学習支援室に定着した利用学生、いわゆる常連さんたちの利用状況であると思われる。



※利用率=(在籍数に対する実利用者数の割合を百分率で示したもの)

3. 今月のトピックス

- * [9日(月)] 累積利用者数が1万人を突破した。昨年度は11月27日に、一昨年度は1月23日に突破しており、今年度も記録を更新した。このペースでいけば、今年度の年間利用者数は14,500人を超えるものと予想される。
- * [10日(火)] 微積分Iの統一後期中間試験[12月5日(土)3限目実施]にむけて、類題と解答をHPにアップした。あわせて学習支援室にも配布用を設置した。
- * [13日(金)] この時期は中間試験の実施に伴い学習支援室の利用者が増えるため、『11月は利用マナー向上月間』のポスターを掲示し、学生たちに利用マナーの向上を促した。その効果と利用学生の協力もあって、例年より少し落ち着いた雰囲気であった。
- * [18日(水)] 日本高等教育評価機構による認証評価実地調査が実施され当センターもその視察のコースのひとつとなった。視察時にA科2年のグループがちょうど構造力学の学習相談に来ており、評価員から専門的なことも教えているのかとの質問を受けた。わかる範囲のことはスタッフで対応し、手に負えないときは専門教科の先生に質問に行くように指導している、と回答した。
- * [26日(木)] 入学前教育通信制添削問題の第一次発送業務を行なった。対象となる学生には実施要項と数学添削問題第1回目と第2回目、さらには添削問題を解くにあたってのワンポイントアドバイスなどを収録したDVDを自宅へ、また、対象となった学生の出身校には、実施とその協力依頼についての文書、実施に関するすべてのものを収録したDVDを郵送した。センタースタッフとTAを中心に、E科井上研からの応援学生の協力もあってスムーズに業務を終えることができた。

2009.12.6 [月報担当 菅波]